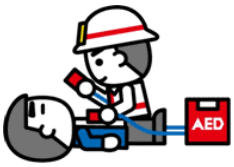
火の用心通信（2012年5月）No.10

横浜市金沢消防署

救命入門コースを新設します!!



横浜市消防局では、平成24年４月から「救命入門コース」新設しました。
金沢消防署においては、平成24年６月から同コースを実施していきます。

「救命入門コース」とは、胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDの使い方を修得することを目標とした90分のコースです。
私たちは、いつ、どこで、けがや病気におそわれるかわかりません。ついさっきまで元気にしていたのに、突然、心臓や呼吸が止まってしまった・・・・・。こんな人の命を救うためには、その場に居合わせた人の胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDがとても重要です！

図１は、救命の可能性と時間経過を示しています。
１１９番通報し救急車を要請しても、救急隊の到着時間は、全国平均で約8分かかります。
心臓と呼吸が4分間停止すると、命が助かる可能性は胸骨圧迫（心臓マッサージ）やAEDを実施した場合が約40%であるのに対し、何もしなかった場合は約20%と半減しています。

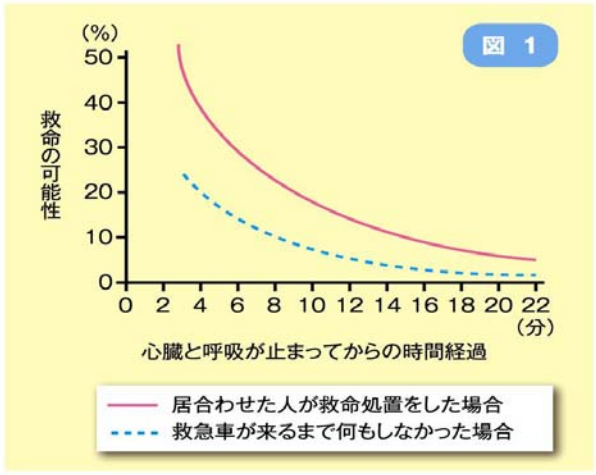
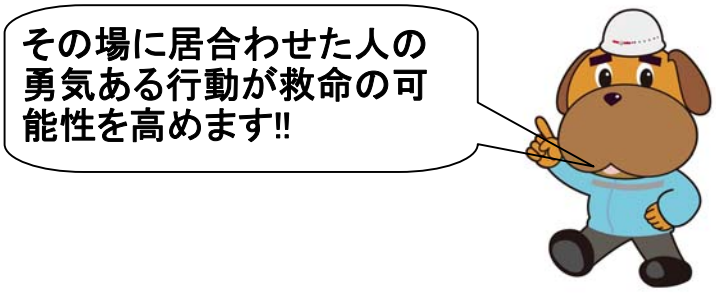


図１　救命の可能性と時間経過
（改訂４版　救急蘇生法の指針2010より引用）



【救命入門コース概要】

カリキュラム	講習時間	受講対象者	受講者の実費負担	修了証等の交付	実施主体
・胸骨圧迫要領 ・AED取扱い要領	90分	小学校中高学年以上 （概ね10歳以上）	なし	参加証交付	金沢消防署

「救命入門コース」は、小学校中高学年以上が受講対象で、講習時間は90分です。“救命講習を受講したいけど、長時間の参加が難しい。”といった場合でも参加しやすくなっており、普通救命講習へつなげるための講習として位置づけ、参加した人には「参加証」を発行します。
金沢消防署では、小中学校や町内会などの団体を対象として実施します。

講習のお申込、相談は金沢消防署予防課予防係までご連絡ください。
TEL/FAX　045（781）0119

点検していますか？

住宅用火災警報器

■作動点検をしましょう!!

取扱説明書を御確認の上、点検や手入れを行ってください。

・次の場合には作動テストを行ってください。
※「引きひも」又は「警報停止(テスト)ボタン」で行います。

1　初めて取り付けたとき
2　清掃等の手入れを行ったとき
3　電池交換を行ったとき
4　取り付け場所を変更したとき
5　故障・電池切れが疑われるとき
6　3日以上、留守にしたとき

※ 異常がある場合は、お買い上げの販売店またはメーカーのお客様相談室等に相談してください。
※ 作業点検時には脚立・イスなどを使用しますので、転落に注意して安全に行ってください。

■住宅用火災警報器の奏功事例

住宅用火災警報器の設置により効果があった事例が多く報告されています。

てんぷら鍋を温めようと火をつけ、その場を離れたところ、しばらくして住宅用火災警報器の警報音に気付きました。台所を見ると、鍋から煙と炎が立ち上がっていたので、すぐにガス栓を閉め、消火できました。

布団の上でタバコを吸っているうちに眠ってしまい、住宅用火災警報器の警報音で目を覚ましました。マットレスから煙が出ていたので、隣家の人に火災を知らせ、１１９番通報を行いました。知らせを受けた人が鍋に水をくみ初期消火できました。

燻煙式の殺虫剤による発報に注意しましょう!!

●家庭で害虫駆除をする季節となり、燻煙式の殺虫剤の使用が多くなります。煙感知式の住宅用火災警報器は、この煙に反応して、警報ブザーが鳴る可能性がありますので注意してください。

●予防方法は、あらかじめ住宅用火災警報器に煙が入らないように、ビニール袋、ラップなどで覆います。また、害虫駆除後は、必ず覆いを取り、元に戻しておいてください。

●害虫駆除をするときは、ビル管理人やご近所にも知らせるほか、玄関先のドアに【害虫駆除実施中〇〇時から】などの張り紙をしておいてください。